

# もっと知りたい

## 武者小路実篤

### 美術品に親しむ 3

# 立体の作品

絵の多くは平面に描かれていますが、彫刻や陶器、人形などは立体なので見る位置で、表情や見え方がちがいます。

いろいろな高さや方向から見て、作品ひとつひとつのお気に入りのポイントを探してみよう。

### もくじき やくし によらい ざ ぞう 木喰「薬師如来坐像」

薬師如来は、病気やけがの苦しみを救う仏様です。  
高さ：72cm



### い かん だん しん ぞう 衣冠男神像

冠をかぶった正装姿の神様の像です。  
高さ：36.5cm



◆ 仏像の視線や表情が、見る位置で  
どんなちがいがあるかな？ くらべてみよう。

(高さ) 上から

まっすぐ

下から

(方向) 正面から

横から

◆ 仏像の姿は、人とちがうよ。  
どこがちがうかわかるかな？  
見つけたことを書き出してみよう。

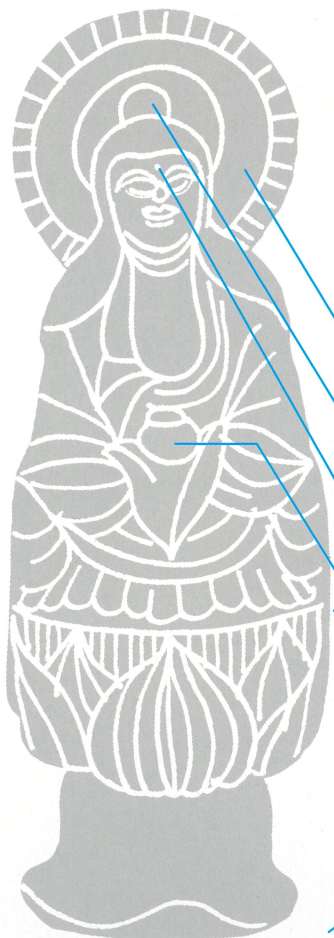
### 薬師如来坐像 と 衣冠男神像

どちらも一本の木から彫られた像だけど、  
ずいぶん形や印象がちがうよ。  
像を見くらべて、どんなちがいがあるかな？

**ヒント** 顔、着物、体の形や彫り方、表情をくらべてみよう。



# 仏像を見る時のポイント



## ◆ 仏像はいろんな姿をしています。

姿、着るもの、手の形、持っている物のちがいで、それぞれの意味や役割があります。「さとり」を開いた仏様を「如来(によらい)」といいます。  
 「さとり」を聞いた仏様を「如来(によらい)」といいます。  
 人とちがったたくさんの特徴があります。

- **光背** (こうはい) ..... 仏像の付属品。仏様が光りかがやいていることを表しています。
- **肉髻** (につけい) ..... 頭の上の大きな盛りあがり。知恵が優れていることを表しています。
- **白毫** (びやくごう) ..... おでこに白く長い毛がまるまったもの。光を放ち世界を照らします。
- **薬壺** (くすりつぼ、やっこ) ..... 薬師如来のマークです。
- **台座** (だいざ) ..... 仏像の付属品。仏様がいる場所を表して、座わったり、立ったりしています。これは、ハスの花をかたどっています。

ほかにもいろんな  
仏像を見てみよう!

ほかにもどんな、  
作品があるかな?

### この作品を作った人

もくじき

**木喰**

(1718—1810年)

江戸時代に日本各地を旅しながら仏像をつくっていた人です。

ノミのあとをのこす彫り方で、ほほ笑みをうかべた表情の作品が多くあります

## よう 俑とは?

昔の中国で、亡くなくても生きている時と同じような生活ができるように、お墓と一緒に埋葬した、いろんな人間、動物、鳥、日用品をかたどったものです。これは粘土で作られていますが、金属や木の俑もあります。  
 人と同じ大きさでとても写實的に作られた、中国の兵馬俑などは有名です。



実篤が描いた作品

◎「花と俑」

1979年



かん かさい けいよう  
◎漢加彩鶏俑  
高さ：12.5cm

とう ぶじょう  
◎唐加彩舞女俑  
高さ：24.0cm



**実篤に挑戦!**

お気に入りのポイントから、  
作品をモデルに描いてみよう。